

えひめの社会資本整備

本県では、急峻な地形や脆弱な地質により、自然災害が発生しやすいことに加え、長い海岸線を有し対策を要する危険箇所が多く存在することなど、整備に多額の経費を要するため、道路や下水道など、総じて社会資本整備が遅れています。このため、今後も、浸水被害箇所や土砂災害危険箇所等の防災対策、本県の発展や地域活性化に必要な社会資本整備を積極的に取り組んでいく必要があります。

また、南海トラフ地震に備え、県民の安全・安心を確保する取り組みも早急に進めていく必要があります。

現状と課題

多発する自然災害

背後に険しい四国山地がそびえ急峻な地形を呈していることに加え、中央構造線等の大きな断層が県土を縦断し、脆く崩れ易い地質が広く分布していることから、浸水被害や土砂災害が多発しています。

また、平成25年12月に公表した「愛媛県地震被害想定調査」では、発生が懸念されている南海トラフ巨大地震により、

県土に甚大な被害が想定されています。

このため、県民の安全・安心に向けた取組が急がれています。



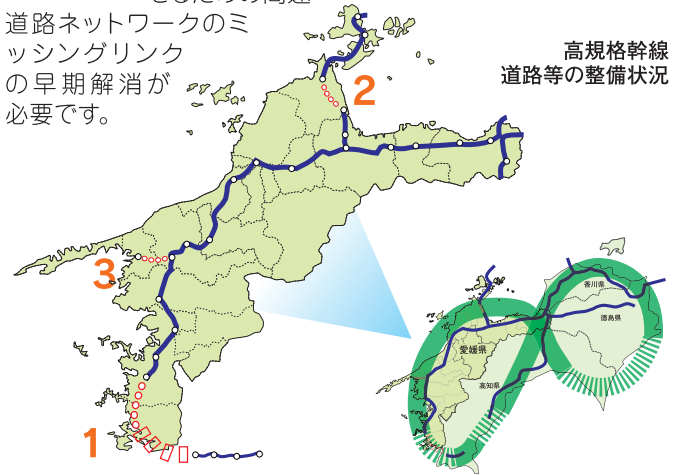
平成25年9月 主要地方道西条久万線(久万高原町)

交流と連携

本四3橋の開通や四国8の字ルートの進展で、本州等との交流が大幅に増大する一方、他地域との連携強化や地域間競争への対応などが求められており、既存施設の効果を最大限に活用した地域づくりや、効果を最大限に発揮させるための高速

道路ネットワークのミッシングリンクの早期解消が

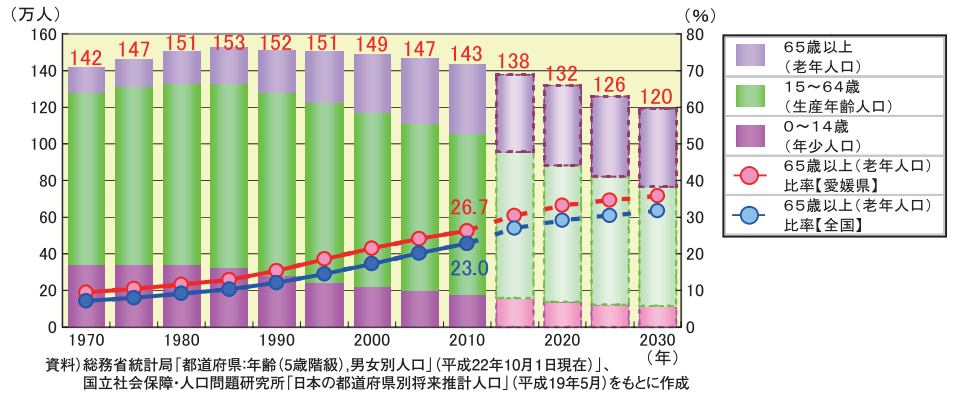
高規格幹線道路等の整備状況



愛媛県が抱える高速道路ネットワークの3つのミッシングリンク

少子・高齢化

本格的な人口減少と高齢化時代を迎え、本県でも人口の減少が続く、老年人口(65歳以上)の割合は全国水準よりも高く、早いペースで高齢化が進んでいます。このため、人口減少が進んでいく中、地域を維持するためには、地域活力の向上や活性化、高齢者が安心して生活できる社会の構築が必要となっています。



環境との共生、ゆとりの創造

標高西日本一の霊峰石鎚山(標高1,982m)をはじめとする美しい山々とそこから流れ出す無数の清流、風光明媚な大小200の島々が散在する瀬戸内海や宇和海など、全国に誇れる自然豊かな景観に恵まれており、これらの貴重な財産を守り、未来に引き継いでいく必要が

あります。

また、人々の生活の力点が心の豊かさや余暇、家庭生活の充実へと変化しており、豊かな自然環境とのふれあいができるゆとりと潤いのある空間の確保が必要となっています。



宇和海

都市の再生と活性化

高速交通体系の整備推進にともない、県民生活や経済活動の広域化と利便性が図られる中、県境を越えた都市間競争に対応するため、渋滞緩和や主要施設とのアクセス向上等の都

市内交通の円滑化や、快適で魅力あるまちづくりなど、都市の機能強化に取り組むことが必要となっています。



南江戸踏切(松山市)